

北朝鮮による核実験強行に抗議する！

核・ミサイル計画の即時中止と朝鮮半島非核化へ誠実な努力を

いかなる口実によっても
正当化できない

2月12日、北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）は、朝鮮中央通信を通して、2006年と2009年に続く三度目の地下核実験を行ったと発表しました。これは、北東アジア全体の平和と安全を脅かし、国際社会における核兵器全面禁止の流れに真っ向から反するものです。

今回の行為は、いかなる口実によっても正当化されません。

**国際社会の一員として安保理
決議を受入れるべき**

国連安保理はこの間、北朝鮮に対して、「いかなる核実験又はいかなる弾道ミサイル技術を用いた発射もこれ以上実施しない」（決議1874）こと、「さらなる発射または実験」がおこなわれた場合には「重大な行動をとる決意」（同2087）を表明しています。北朝鮮は、国際社会の一員であるならばこの決議を受け入れ、一切の核・ミサイル開発を即時中止し、朝鮮半島非核化へ誠実に努力すべきです。

**政府は被爆国として
平和的解決の先頭に**

同時に、アメリカ、中国、ロシア、韓国など関係国の政府に対し、この問題の平和的解決と六カ国協議再開、朝鮮半島非核化に向け努力するよう求めます。

特に、日本政府は、憲法に抵触する集団的自衛権の行使などに走るのではなく、被爆国として核兵器全面禁止を提唱し、問題の平和的解決の先頭に立つべきです。



(2013・2・12)